

つながる、ささえる、680万

連合救援ボランティアレポート

第1号
2011年4月1日

| 1

連合救援ボランティアレポートを発行します！

昨日（3月31日）、連合救援ボランティアの第1陣が被災地に向け、力強く出発しました。第1陣に参加された方々は、これから長く続くであろう連合救援ボランティアの大きな第一歩を切り開かれ、以降数千人（当初3ヶ月間の延べ日数ベースでは25,000人の派遣を計画）が、支え合う心のバトンを引き継いでいきます。ボランティア活動に参加される方も、職場に残り仕事をカバーする人も、さらには応援してくれる家族や友人知人も含めた大きな人の輪が広がる活動でもあると思います。また、被災地の方々や他の団体や個人のボランティアの方々とも活動を通じてつながっていく、連合が掲げる「つながろうNIPPON」を具現化する活動であると思います。

連合・救援ボランティア班としては、こうしたボランティア参加のみなさんの日々の活動をできる限り、臨場感を持って構成組織、地方連合会のみなさんにお伝えしていきたいと考えます。具体的には

○後に続く参加者との間で活動内容を共有化していくこと

○ボランティア活動を通じた共感の輪を680万人組合員、さらには家族、地域へ広げていくこと…をめざし、情報を提供して参りますのでぜひご覧頂きたいと考えております。

連合救援ボランティア班（非正規労働センター）

第一陣 無事到着 本日より本格始動！

31日午前に東京・連合本部を出発した岩手、宮城、福島各派遣隊第一陣は、それぞれ無事に現地に到着しました。

このうち岩手チームは、17時に中継地点である盛岡駅前広場に到着。その場で連合岩手による受け入れ集会が開催されました。集会では、砂金・連合岩手会長、岩手県社会福祉協議会・菅原課長からのあいさつに続いて、連合本部を代表して生澤総合国際局長、UIゼンセン同盟、自治労、日教組、基幹労連の各代表が決意表明を行いました。集会后、宮古、東和チームに分かれてベースキャンプに向かいました。（右写真：受け入れ集会の模様）

以下は東和ベースキャンプに到着した自治労責任者・佐藤青年部長からの報告です。

「バスは時刻表どおりでした。布団は、ちゃんとした物があり、支給されたのは掛け布団、敷き布団、シーツ、毛布2枚です。暖房が入っているので寝袋はいりません・・・装備品としては、軍手、ゴム手袋、マスク、防塵マスク、ゴーグル、ヘルメット、ホッカイロがあります。生活用品として、タオル、バスタオル、ちり紙、ファブリーズなどあります。長靴以外は、ほとんど必要なかったようです・・・明日は、大槌の泥出し作業です」---対策本部では、こうした現地からの情報をもとに、今後派遣されるみなさんの準備に役立つよう、情報を整理・提供していきたいと思ひます。



■福島チームからも、到着当日のベースキャンプの様子が写真で寄せられています（提供：電機連合）



連合救援ボランティア班からのお知らせ

◆第1陣 初日の作業内容（電話連絡ベース：詳細はあらためて報告します）

- 東和…釜石 : がれき撤去済み地面の消臭・消毒のための石灰散布
…大槌 : 倒壊家屋の家財の運び出し、泥出し
- 宮古 : 仮設風呂の運営・管理と住宅内に入り込んだ泥や家財、ゴミの撤去
- 一関…気仙沼 : (A班) 家屋からの泥出し、家財の移動、物資の仕分け
(B班) 物資の仕分け
- 仙台…多賀城 : 畳あげ、家屋からの泥出し
- 福島…相馬 : 道路をふさいでいる倒壊した造船所の破損物等の片付け

※いずれの作業も各々の地域のボランティアセンターで、優先順位の高い仕事かつ一般ボランティアで対応できる仕事（安全性）であることが確認されています。また、現地に派遣している本部常駐者も作業の安全性には十分注意し、作業を請け負うことにしています。

★岩手（宮古・東和）からの情報 **重要**

○今後、岩手に派遣される方の持ち物について

- ①寝袋等、寝具類は一切不要です（布団など完備のため）
- ②水やお茶など、ペットボトル入りの飲み物も適量準備されていますので、不要です

◆宮城（仙台）、岩手（宮古・東和）からの連絡 **重要**

○作業によっては、ガラスや釘などを踏む可能性もあることから、必ず底の厚い長靴か安全靴をご持参ください。

◆仙台ベースキャンプ定員の変更について

○仙台ベースキャンプの定員を 80 名に変更しています。

…当初、100 名可能との情報もありましたが、スペースの関係、トイレの問題もあり最終的に 80 名としています。つきましては構成組織のみなさんには毎回ほぼ同数で調整していただきたく、合わせてよろしくお願ひします。また、当初復旧する予定であったガスが未だ復旧しておらず、お風呂については中日に近隣の温泉地に行く予定にしています。少しでも環境を改善するべく努力しておりますが、しばらくご不便をおかけしますことをご理解ご容赦願ひします。なお、現在、仙台および周辺で新たなベースキャンプの設置を検討しております。…一部に 100 名は無理との情報も出ているようですが、上限を 80 名としていますので念のため確認させていただきます。

ボランティア派遣担当班 ミニドキュメント ～第 1 陣出発まで～

3 月 11 日（金）◆第 18 回中央執行委員会の最中に東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）発生

…本部役職員、一部中央執行委員、地方ブロック代表者が連合本部に宿泊

3 月 14 日（月）◆緊急三役会開催 連合本部・緊急対策救援本部設置

3 月 19 日（土）◆政府が震災ボランティア連絡室を設置

◆政府（ボランティア担当：辻元清美首相補佐官ほか）と対策会議

3 月 21 日（祝）◆政府、仙谷由人官房副長官をトップとする生活再建対策本部を設置

◆仙谷官房副長官より古賀会長へ、連合ボランティア早期派遣要請あり

◆辻元首相補佐官より政府と連合の連携強化と早期派遣の要請あり

◆宮城にボランティア先発隊を派遣

3 月 22 日（火）◆緊急三役会、緊急中央執行委員会開催

…中執で政府（辻元補佐官）より要請、民主党（泉健太議員）より激励あり

◆連合・救援ボランティア要領（暫定版）確認

おもな方針として、①救援対象を岩手、宮城、福島とする、②活動は現地の自治体、社

連合本部・災害対策救援本部 ボランティア派遣担当班

電話 03-5295-0555 FAX03-5295-0547（非正規労働センター）

hiseiki@sv.rengo-net.or.jp

協等を中心としたボランティアセンターと連携する、③救援地域に連合ボランティアのベースキャンプを設置する、④連合本部とベースキャンプ間を直行バスで運行する、などを決定

◆岩手にボランティア先発隊を派遣

3月23日(水) ◆相馬市より連合福島に緊急ボランティア派遣要請

3月24日(木) ◆福島にボランティア先発隊を派遣

3月25日(金) ◆連合救援ボランティア相馬先行部隊を派遣(5名×4週間:電力総連が参加)

◆救援ボランティア構成組織担当者会議開催

3月26日(土) ◆構成組織と担当地域調整

3月27日(日) ◆ 同上

3月28日(月) ◆地方連合会ブロック会議開催

3月29日(火) ◆民主党(衆議員ほか)と打ち合わせ

3月31日(水) ◆連合救援ボランティア第1陣出発

関連情報

●「心の無料電話相談」本日開始 産業カウンセラー協会

(社)日本産業カウンセラー協会は、4月1日から「心の無料電話相談」を開始しました。これは、震災で被災した人やその関係者、さらに救援ボランティアの不安・ストレスに対応するため、特別に開設されたものです。相談は、協会所属の産業カウンセラーが対応し、必要に応じて専門機関の紹介も行うとのことです。

■受付時間 午後1時から午後8時まで、相談料・通話料は無料

■電話番号 0120-216633

●ホテルラングウッド 「復興支援プラン」宿泊特別料金を設定

ホテルラングウッド(東京・荒川区)では、4月30日まで、震災の復興支援活動に従事する人を対象にした「復興支援プラン」を設定しています。ボランティア活動のために前泊が必要な場合は、直接ホテルにご予約をお願いします。ご予約はお早めどうぞ。

【シングルルーム】1泊朝食付き5,000円、夕朝食付き6,000円(税・サービス料込)

チェックイン14時、チェックアウト11時。

■お問い合わせ・ご予約はホテルまで(電話03-3803-1234 Fax03-3803-2843)